

金沢大学 文化資源学 公開講演会

考古学から見た「中国」誕生史

2014年7月11日(金) 13:00~14:30

人間社会第一講義棟2階204講義室

金沢大学角間キャンパス／入場無料・通訳付き

要旨：

今回の講演では、参加者の皆さんを今から4000年前の、今まさに「中国」が生まれ出ようとする時代へといざなってみてみたいと思います。主な話題は以下の通りです。

○初期中国の形成は単線進化だったのか？いわゆる中原の地はつねにはるか先行くトップランナーだったのか？中国誕生の歴史はどこまでも無限に遡ることができるのか？

○史書に記載される夏王朝はどの考古学文化に当たるのか？

○東アジアの広域王権国家は如何にして形成されたのか？なぜ最初期の「中国」は中原の地で生まれたのか？

○初期中国文明は、単純にその地に生まれ、その地に育ったのか？青銅礼器とその鑄造技術、その他多くの遠隔交易品が最初期の「中国」の誕生を促したのか？

講師：許宏 (Xu Hong)

1962年遼寧省生まれ。中国社会科学院考古研究所首席研究員、夏商周考古研究室長、二里頭遺跡発掘隊長を兼任。専門は夏商周考古学、中国古代都市考古学、中国文明形成および初期国家に関する考古学研究。著書に『先秦城址考古学研究』『最早的中国』『何以中国』などがある。



お問い合わせ

金沢大学国際文化資源学研究センター TEL: 076-264-5788